

「2027年国際園芸博覧会(GREEN×EXPO 2027)における セキュリティ・安全安心の確保に向けた取組要綱」について

令和8年6月
サイバーセキュリティ分科会、テロ・災害対策分科会、
衛生・救護対策分科会

策定趣旨

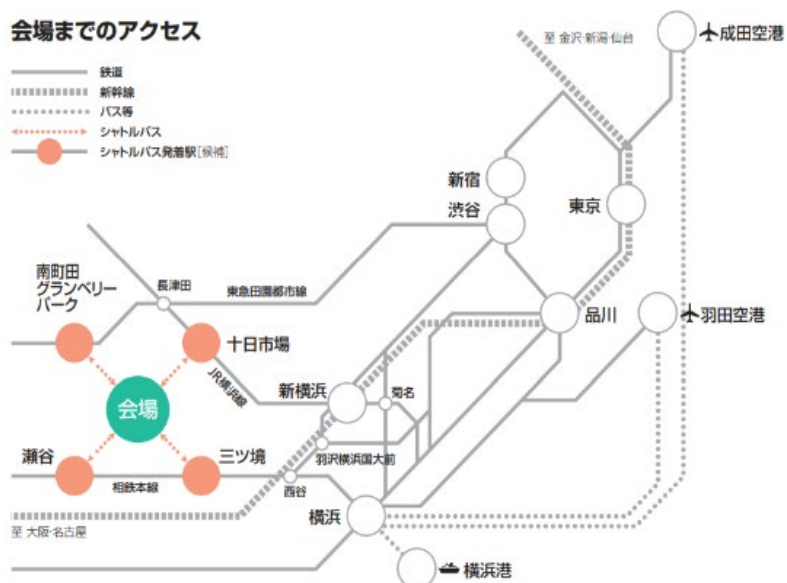
- 令和5年8月に閣議決定された「2027年国際園芸博覧会（GREEN×EXPO 2027）の準備及び運営に関する施策の推進を図るための基本方針」において、GREEN×EXPO 2027における「適切なセキュリティや安全・安心の確保」として、テロ、防災・減災、サイバーセキュリティ、感染症等の分野においてそれぞれ必要な取組を推進する旨が定められている。
- これに基づき、関係府省庁においては、次の点にも留意した上で、それぞれの所掌において必要な取組を推進するとともに、相互に緊密な連携を図ることにより、政府一丸となって総合的かつ集中的に対策を推進することとする。

留意点

- GREEN×EXPO 2027は、令和9年3月19日から9月26日までの192日間、横浜市瀬谷区・旭区に跨る区域で開催されること。
- GREEN×EXPO 2027におけるセキュリティ・安全安心の確保は、GREEN×EXPO協会、神奈川県及び横浜市等の地方自治体等との間においても緊密に連携を図る必要があること。
- 来場する数多くの外国人、高齢者、子ども、身体等に障がい有する者等への支援にも十分配慮する必要があること。

博覧会区域：約100ha(内、会場区域約80ha)
有料来場者数：1,000万人以上

会場までのアクセス



近傍4駅よりシャトルバスアクセス(約10~20分)
会場隣接駐車場、パークアンドライド駐車場あり



1 テロ対策

○ 会場やその周辺地域等における警戒警備の徹底

→ 会場やその周辺地域のほか、上空における警戒警備を徹底。

○ 重要施設における警戒警備等の徹底

→ 電力等の供給施設、会場へのアクセスに用いられる公共交通機関の関連施設等、重要施設の管理者・事業者等と連携し、自主警備態勢を踏まえた保安対策や警戒警備を徹底。

○ 水際対策、テロに使用されるおそれのある銃砲、爆発物等への対策の徹底

→ 水際関係機関間の情報共有や連携を徹底のほか、テロに使用されるおそれのある銃砲や火薬類等を取り扱う個人や事業者等に対する各種法律に基づく規制や指導、爆発物原料等の取扱事業者等に対する保管管理等の指導を徹底。



2 防災・減災対策

○ 各種災害の発生に備えた態勢の確立

→ 大規模な地震等、広域的な対応が必要となる災害が発生した場合においても、GREEN×EXPO協会、神奈川県、横浜市等の地方自治体等と緊密に連携し、迅速かつ的確に対処することができるよう、必要な態勢の確立に向けた取組を実施。

○ 効率的かつ効果的な情報収集・発信及び必要な対処への確実な反映

→ 災害が発生した場合にその局面に応じて有効に機能する各種ツール（アプリ等）を活用するなどして、効率的・効果的な情報収集・発信、これらが必要な対処に確実に反映されるための取組を実施。

○ 災害が発生した場合における迅速かつ的確な対処

→ 来場者等の一時避難場所への避難や負傷者の救急搬送等が必要となる可能性を踏まえ、そのための施設や搬送手段の確保に向けた取組等、必要な態勢の確立に向けた取組を実施。その際、近隣住民等が会場内に一定期間とどまる場合があること等に留意。

○ 医療救護態勢の確立

→ 会場内の常駐医師、搬送先の医療施設、搬送手段の確保に向けた取組等、必要な医療救護のための態勢の確立に向けた取組を実施。

○ 外国人、高齢者、子ども、身体等に障がいを有する来場者等に対する配慮

→ 災害が発生した場合にその局面に応じて有効に機能する各種ツール（アプリ等）を活用するなど、外国人、高齢者、子ども、身体等に障がいを有する来場者等に配慮した情報発信の態勢の確立に向けた取組を実施。

○ 食料等の備蓄物資等の確保

→ 会場内にとどまる来場者等に対し確実に食料等が提供されるための態勢の確立に向けた取組を実施。その際、外国人、高齢者、子ども（特に乳幼児）、身体等に障がい等を有する者等が含まれることに留意。



3 雑踏事故対策

○ 雑踏事故の発生に備えた態勢の確立

→ 実際に発生する混雑の状況を把握しつつ、その緩和のための措置やこれに伴う雑踏事故を防止することができるよう、必要な態勢の確立に向けた取組を実施。その際、大規模震災等が発生した場合においては、公共交通能力の低下や公共交通自体が長時間にわたって困難になり得ることに留意。

○ 交通トラブル等が発生した場合における迅速かつ的確な対応

→ 交通トラブル等の発生状況の確認、来場者等に対する関連情報の発信のほか、発生する混雑の状況を把握しつつ、迂回ルートの案内をはじめその緩和のための措置やこれに伴う雑踏事故を防止することができるよう、必要な態勢の確立に向けた取組を実施。その際、来場者等が一定期間会場内にとどまる場合があり得ることに留意。

4 サイバーセキュリティ対策

○ リスクマネジメントの促進

→ GREEN×EXPO協会、GREEN×EXPO 2027の準備・運営に影響を与える可能性のある重要サービス事業者等におけるサイバーセキュリティ上のリスク評価及び明確となったリスクへの対策を促進。

○ 対応態勢の整備

→ サイバーセキュリティに係る脅威、インシデントに関する情報を共有するための態勢を整備。また、事案発生時における迅速かつ的確な対応のために必要な態勢を整備するとともに、演習訓練等を通じ対策に従事する者の対応能力を向上。

5 感染症対策等

○ 感染症の発生動向の迅速かつ的確な把握

→ 既存の感染症のみならず、新たな感染症が発生する可能性も念頭に置き、国内外の発生動向を迅速かつ的確に把握するため、サーベイランスや情報共有のための態勢等を整備。また、検疫業務を着実に実施。

○ 感染症予防対策等の徹底

→ 各種機会を捉えて感染症予防に関する周知啓発を実施。また、疾病（麻しん、風しん等）やこれへの感染リスクに応じたワクチン接種等に向けた啓発等、感染拡大防止に向けた取組を実施。

○ 食中毒対策等の徹底

→ 食品衛生管理や細菌性食中毒、感染性胃腸炎等の予防のための取組について徹底。また、会場内で食中毒等が発生した場合に備え、必要な医療救護のための態勢の確立に向けた取組を実施。

○ 人体に影響を及ぼす植物の管理の徹底

→ 接触等により皮膚の炎症を発生させるなどの人体に影響を及ぼす植物の植栽、展示の抑制を基本に、出展者に対する安全管理の徹底に向けた取組を実施。

○ 医療救護態勢の確立（再掲）



※ 1 出典：首相官邸HPより

6 暑熱対策

○ 啓発及び注意喚起等の徹底

→ 熱中症の警戒に関する情報等の収集態勢の構築や各種ツールを活用した効果的な啓発や注意喚起を時季に応じて実施。その際、多言語による情報発信に留意。

○ 熱中症予防対策の実施

→ 会場内において人の滞留が見込まれるエリアを重点とした日射を遮蔽するための措置や、来場者への飲料水の提供等、熱中症を予防するための取組を実施。

○ 医療救護態勢の確立（再掲）



7 共通の取組

○ 脅威等に関する情報の収集・共有

→ 国内外、サイバー空間において刻々と変化する脅威等について情報収集を行うとともに、必要に応じ、関係機関間において情報共有を実施。

○ 情報共有等を徹底するための態勢の確立

→ 開催期間中において、必要な調整や情報共有等を徹底するための態勢を確立。

○ 分野横断的な関係機関間の連携

→ 各種事案や災害が発生した場合において、それぞれの取組主体が迅速かつ的確に対応することができるよう、平素から関係機関間で緊密に連携。必要に応じ、分野横断的な連携に留意。

○ 継続的な検討

→ GREEN×EXPO 2027におけるセキュリティ・安全安心の確保に向け、様々なリスクを踏まえて継続的に必要な取組の追加・見直しについて検討。

8 その他の取組

上記以外の取組についても、GREEN×EXPO 2027におけるセキュリティ・安全安心の確保に向けて必要と認められる場合には、GREEN×EXPO協会、神奈川県、横浜市等の地方自治体等と緊密に連携して推進。